

自治労きようと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

9/15・10/1
2025
第901号

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



連合京都・京都公務労
協は9月4日、京都府、京
都市各人事委員会へ勧告



連合京都・公務労協

府・市人事委員会に要請行動

京都府人事委員会要請では、冒頭、京都公務労協代表である岡本府本部委員長が「8月7日に人事院勧告があった。本年は官民格差を考慮し、月例給は3・62%、一時金は0・05月の引上げ。月例給については若年層のみならず、中高年層も昨

年を大幅に上回る引き上げとなった。自動車通勤にかかる通勤手当に関しても距離区分の引上げなどがあった。また、比較対象規模を50人以上から100人以上へ引き上げた。これらを受け府人事委員会は、勧告は10月中旬頃を予定しており、現在は民間実態調査に基づき精査している段階。人事院勧告を踏まえ、人材確保、あらゆる世代のモチベーションの向上、ジェンダー平等などの観点から前向きな勧告となるよう努力していきたい」と回答があった。

公務労協からは、定年引上げに伴う高齢層職員の給与水準や再任用職員の一時金支給月数の改善、会計年度任用職員のさらなる処遇改善、ハラメント対策の拡充、長時間労働の是正などについて要請した。



府本部推せん候補当選

9月7日(日)城陽市長選挙および城陽市議補欠選挙、府本部が推薦した村田まさあきさんと下村まきこさんがともに当選を果たした。

城陽市長選挙 城陽市議補欠選挙

結果

- 城陽市長選挙 村田まさあき 13,647票当選
- 城陽市議補欠選挙 下村まきこ 6,171票当選

田まさあきさんと「下村まきこ」さんがともに当選を果たした。暑い中ご協力をいただいた仲間、皆さんに感謝申し上げます。

アンコンシャス・バイアス 無意識の偏見 を乗り越えよう



▲性別に関わらず誰もが活躍できる職場になっているか、腕をあげて10段階で表現

府本部は8月23日、キヤンパスプラザ京都で「第3回ジェンダー平等学習会」を開催し、各単組から合計23人が参加した。講師にキャリアカウンセラーで株式会社代表取締役の瀧井智美さんを迎え、「ジェンダー平等実現に向けてアンコンシャス・バイアスを乗り越えよう」をテーマに講演を行った。

導入部分では、現在地の確認として、参加者全員に「性別に関わらず誰もが活躍できる職場、組織の状況を1から10までの数値で表すと？」と現状を聞いたところ、多少のバラつきはあったものの、ほとんどが6から8の値を示した。「自治労は民間より進んでいるんですね」と瀧井さんよりコメントがあった。

府本部ジェンダー平等学習会



▲瀧井智美さん



いま日常的に耳にする「ジェンダー平等」とは、「男性と女性が等しく権利と機会を享受し、責任を分かち合い、意思決定にも対等に参画できる状態」また「個人が性別を理由に直接的・間接的に差別されない状態」を指す。しかし、内閣府の2021年時点の調査によると76・3%が「お茶汲みは女性」「力仕事は男性」のように、性別で役割を決めつけられた経験があるという。それはまさに、「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」によるものであり、これを乗り越える

府本部第90回定期大会
日時 9月27日(土) 13:00~
場所 ラポール京都2F大ホール
2026年度運動方針案や当面の闘争方針案、府本部財政・組織健全化計画案、役員体制案などを確認

ののに対して肯定的になる「ハロー効果」などがあり、誰もが何の悪気もなく無意識の偏見や差別に陥ってしまっている現状があるという。

2025年、日本のジェンダーギャップ指数は前年比横ばいの世界148位。中々118位。とくに政治分野における女性参画の落ち込みが激しいのだが、「政治家は男性」というイメージが払しょくできていない結果でもある。また、「女性活躍推進法」では、2030年までに企業における女性役員比率を30%とする目標を定めている。まずは先駆けて、経済分野における女性参画を推進しようということだ。

「クリティカルマス・黄金の3割」の言葉の通りに、少数派が3割を超えると質的な変化が起きるという。逆にいうと、構成比が3割以下の職場では現状維持の力が働くため、変化が起こりにくく少数派は活躍しにくいというのだ。女性が生きにくい環境は、いまや男性にも生きにくい。誰もが諦めず活躍できる社会の実現のために、自らの意識を振り返り、乗り越えていこう。

双思交

平和行動で根室市や釧路市を訪問し、道中の博物館や資料館で貴重なアイヌ文化に触れる機会があった。明治期の北海道を舞台にした漫画「ゴールデンカムイ」は金塊争奪の物語であると同時に、狩猟や食文化、信仰などを通じてアイヌの思想を丁寧に描き出している。特に動物や植物を「カムイ(神)」として敬い、「命は神からの贈り物」という考え方は、自然への畏敬と感謝を教え、主人公たちが異なる価値観を受け入れながら共に生きる姿勢を示している。物語は、征服と差別の歴史を背景に、和とアイヌの摩擦や誤解を描きつつも、異なる文化を知ることとで互いを理解し協力する可能性を提示する。他者を知り、尊重することから共生は始まり、違いを脅威ではなく新たな視点や可能性を生む源泉としてとらえることが大切だと訴えている。▼多様な文化を尊重し合い、互いの違いを学び合うことが、これからの社会を豊かにする。職場や地域から声をあげ労働組合に結集し、あらゆる差別に反対し多文化共生社会をめざそう。



核廃絶へ決意新たに

被爆80周年・原水禁広島大会

被爆80周年原水爆禁止 京都平和フォーラムを通
広島大会が8月4日〜6 じ府本部から10名が参加
日、広島市で開催され、した。

初日は折鶴平和行進に
約2000人が参加し、
「核兵器廃絶」を訴えな
がら市内を行進。その後
の開会総会では、被爆者
や海外ゲストが核廃絶と
平和の実現への決意を表
明した。

2日目は分科会が行われ、被爆の歴史や原水禁運動の歩みを学ぶ講演に参加。第五福竜丸事件や映画「ゴジラ」を題材にした講演や落語を通じて、第二次世界大戦後の状況や核をめぐる社会情勢への理解を深めた。

最終日は国際シンポジウムで米韓の活動家や元広島市長の秋葉忠利氏らが討論し、核使用の危機が高まる世界情勢を踏まえた具体的な展望を示した。まとめ集会では「ヒロシマ・アピール」を採択し、核兵器廃絶へ行動する決意を新たに3日間の大会を締めくくった。



話会で学ぶ「平和と核」
落語：古今亭菊千代 講談：田辺一乃

保育現場のICT化とは？



京都保育集会を開催

府本部社会福祉評議会
は8月23日、ゆめりあう
じで、2025京都保育
集会を開催し、7単組24
人が参加した。

冒頭、主催者を代表して田中議長から「保育現場でもICT化が進められているが、現場ではどう変わっていくのか等の情報が不足している。本日の講演を参考に知識を深めてほしい」とあいさつした。

次に自治労本部社福評・保育部会幹事の降旗真一さん（長野県本部）を講師に迎え、「保育園・幼稚園現場におけるICTの取り組み状況やメリ



▲降旗真一さん

中でも、採用については、「保育技術は客観的に評価できるが、保護者との関係づくりの能力などは評価が難しい」といった課題や「集団行動が苦手であるが療育での対応までは必要としない子どもが増えているように思われる。家庭では歯止めが利かなくなってしまう子どもも居て、保護者との間での課題共有に苦労している」など、各職場の現状や課題について活発な意見があり、有意義な集会となった。

北方領土の早期返還を

連合平和行動in根室に参加



▲北海道の東端・納沙布岬で開かれた平和ノサップ集会

9月5日から8日にかけて、連合平和4行動の最終行動である「平和行動in根室」が北海道・根室市で開催され、連合近畿ブロックから33人、府本部からは2人が参加した。

5日、台風15号の影響が心配されたものの、無事に根室中標津空港へ到着。道の駅わだつみにて、北方領土返還を願う「叫びの像」を見学した。この像は「たとえ何代かかっても取り戻す」という強い思いを込め、老女



▲納沙布岬から歯舞群島の貝殻島灯台まではわずか3.7kmしか離れていない

界大戦終結後の島での穏やかな暮らしが、ソ連軍の侵攻によって家や学校を奪われ一変していく様子が描かれ、現在も続く北方四島問題を考えさせられた。

7日には根室市・納沙布岬で「平和ノサップ集会」が開催され、全国各地の地方連合から653名が参加した。主催者を代表して連合の清水事務局長があいさつし、「ロシアによるウクライナ侵攻から3年半、日本政府の制裁措置に反発してロシアは平和条約締結交渉を中断した。以降、北方を奪われ一変していく様子が描かれ、現在も続く北方四島問題を考えさせられた。この機会に、再開のめどが立っていない。元島民の高齢化など問題は山積している。平和なくして私たちの暮らしも労働運動もない。北方領土問題の早期解決を求め、世界の恒久平和の実現に向けて平和運動の輪を広げよう」と呼びかけた。会場からは肉眼で歯舞群島を望むことができ、また集会では元島民から「お墓参りにも行けない」との切実な声も寄せられた。

4日間の行動を通じて、北方領土問題の実情を深く学ぶことができた。すぐ目の前にある故郷を奪われた元島民が、一日も早く自由に島を行き来できるよう、私たちは返還運動を次世代に継承し、社会全体に広げていく責任がある。「明け



▲根室高校では部活で北方領土を研究

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

契約者＝組合員で
家族の車も

2024年11月更新契約より（新規契約は2024年10月効力開始契約より）

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
- 2 組合員の配偶者
- 3 組合員の同居の親族*
- 4 組合員の配偶者の同居の親族*

*別居の未婚の子も含まれます。

現在ご加入の保険（共済）の適用等級や過去履歴によっては、契約をお引き受けできない場合があります。
*団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

団体割引は
多くの組合員の利用と
安全運転に
支えられています。

団体割引30.0%※

くみん共済 NEWS
5124A023

契約にあたっては
パンフレットをご覧ください
不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

くみん共済「全労済」 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

自治労共済推進本部は
「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この歳月に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。